

平成 28 年熊本地震 被害調査速報（別府港）

NPO ジオセーフ 会員
九州大学大学院工学研究院
海域港湾環境防災共同研究部門
平澤 充成

調査日：平成 28 年 4 月 16 日

調査箇所：別府港

被害状況：

（1）被害箇所

- ①第三埠頭 -7.5m 岸壁（フェリー）取付部
- ②第二埠頭 -7.5m 岸壁（フェリー）船尾係船岸・車両乗降設備



図-1 被災箇所の位置

(2) 第三埠頭 -7.5m 岸壁 (フェリー) 取付部の被災状況

フェリー船首側係船柱背後のエプロンが沈下。段差は最大 15~20cm 程度。亀裂の幅は 10 cm 程度。フェリー (大阪行き) の運航に支障は出ていない。



写真-1 沈下箇所



写真-2 沈下箇所の段差

写真-3 沈下箇所の亀裂

また沈下箇所周辺では、南側隅角部を中心に亀裂が発生している。段差は大きくないが、そのうちの1ヶ所から給水管の破損によると考えられる水の噴出が見られた。



写真-4 亀裂からの噴水



写真-5 沈下箇所周辺の亀裂

(3) 第二埠頭 -7.5m 岸壁 (フェリー) 船尾係船岸・車両乗降設備の被災状況
フェリー船尾係船岸に設置されている車両乗降設備が歪み、昇降動作に支障が発生。修理は間もなく完了する見通しとのこと (作業員へのヒアリングより)。なお、フェリー (八幡浜行き) は運航されている。



写真-6 フェリーの接岸状況



写真-7 車両乗降施設の修理作業状況